

(11) 調査結果(BSI)の業種別総括表

<p>製造業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 26年10～12月期の業況判断BSIは▲30.3と、前期(▲31.5)から1.2ポイント上昇したが、続く27年1～3月期は▲32.7と低下に転じた。先行きについてみると、同4～6月期は▲32.2、同7～9月期は▲31.3と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲18.5と、前期(▲23.8)から5.3ポイント上昇した。来期は▲26.5と、低下に転じる見通しとなっている。 今期の受注BSIは▲19.0と、前期(▲23.3)から4.3ポイント上昇した。来期は▲26.5と、低下に転じる見通しとなっている。 今期の製・商品在庫BSIは4.8と、前期(1.8)から3.0ポイント上昇し、「過剰」超幅が拡大した。来期は5.3と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは37.9と、前期(47.1)から9.2ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲5.2と、前期(▲1.8)から3.4ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは▲20.4と、前期(▲16.4)から4.0ポイント低下した。来期は▲22.8と、さらに低下する見通しとなっている。 26年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は28.9%と、前年度実績(25.0%)から増加した。 経営上の問題は「仕入価格の上昇」(50.7%)が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(45.0%)、「人材不足」(32.2%)と続いている。
<p>非製造業 計</p>	<ul style="list-style-type: none"> 26年10～12月期の業況判断BSIは▲23.1と、前期(▲23.8)とほぼ同水準で推移したが、続く27年1～3月期は▲31.1と低下した。先行きについてみると、同4～6月期は▲23.5と上昇に転じ、同7～9月期は▲21.1と、さらに上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲20.5と、前期(▲18.9)から1.6ポイント低下した。来期は▲19.5と、上昇する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは29.7と、前期(38.5)から8.8ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲0.1と、前期(7.4)から7.5ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。 今期の資金繰りBSIは▲15.2と、前期(▲10.3)から4.9ポイント低下した。来期は▲13.1と、上昇に転じる見通しとなっている。 26年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は23.5%と、前年度実績(20.8%)から増加した。 経営上の問題は「人材不足」(43.3%)が最も多く、以下「仕入価格の上昇」(37.2%)、「生産・受注・売上げ不振」(31.8%)と続いている。
<p>建設業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 26年10～12月期の業況判断BSIは▲7.9と、前期(▲15.0)から7.1ポイント上昇したが、27年1～3月期は▲26.4と低下した。先行きについてみると、同4～6月期は▲23.0と上昇に転じ、同7～9月期は▲20.6と、さらに上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲19.6と、前期(▲15.0)から4.6ポイント低下した。来期は▲20.6と、さらに低下する見通しとなっている。 今期の受注BSIは▲24.5と、前期(▲20.8)から3.7ポイント低下した。来期は▲29.4と、さらに低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは35.8と、前期(47.7)から11.9ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲3.0と、前期(9.9)から12.9ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。 今期の資金繰りBSIは▲6.4と、前期(▲4.7)から1.7ポイント低下した。来期は▲12.3と、さらに低下する見通しとなっている。 26年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は28.3%と、前年度実績(25.4%)から増加した。 経営上の問題は「人材不足」(52.5%)が最も多く、以下、「労働力不足」(36.8%)、「仕入価格の上昇」(36.3%)と続いている。

非 製 造 業	運輸・通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年10～12月期の業況判断BSIは▲6.2と、前期（▲19.8）から13.6ポイント上昇したが、続く27年1～3月期は▲13.1と低下した。先行きについてみると、同4～6月期は▲10.8と上昇に転じ、同7～9月期は▲8.4と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは0.7と、前期（▲5.6）から6.3ポイント上昇し、マイナスからプラスに転じた。来期は▲6.9と、7.6ポイント低下し、プラスからマイナスに転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは7.7と、前期（36.6）から28.9ポイント低下した。今期の販売価格BSIは7.7と、前期（7.1）とほぼ同水準で推移した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲5.4と、前期（▲11.3）から5.9ポイント上昇した。来期は▲3.9と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は31.0%と、前年度実績（31.0%）と同水準であった。 ・ 経営上の問題は「人材不足」（48.5%）が最も多く、以下「労働力不足」（35.4%）、「人件費の増加」（26.9%）と続いている。
	卸・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年10～12月期の業況判断BSIは▲39.5と、前期（▲38.8）からほぼ同水準で推移したが、続く27年1～3月期は▲42.7と低下した。先行きについてみると、同4～6月期は▲31.3と上昇に転じ、同7～9月期は▲26.7と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲37.0と、前期（▲26.0）から11.0ポイント低下した。来期は▲24.8と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは22.3と、前期（38.0）から15.7ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲4.5と、前期（16.9）から21.4ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲24.9と、前期（▲7.0）から17.9ポイント低下した。来期は▲19.1と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は18.9%と前年度実績（15.3%）から増加した。 ・ 経営上の問題は「仕入価格の上昇」（40.8%）が最も多く、以下「生産・受注・売上げ不振」（38.9%）、「販売価格の低下」（34.4%）と続いている。
	飲食・宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年10～12月期の業況判断BSIは▲44.0と、前期（▲28.6）から15.4ポイント低下したが、続く27年1～3月期は▲40.2と上昇した。先行きについてみると、同4～6月期は▲19.6とさらに上昇するが、同7～9月期は▲22.4と、低下に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲17.7と、前期（▲22.8）から5.1ポイント上昇した。来期は▲15.0と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは54.2と、前期（60.0）から5.8ポイント低下した。今期の販売価格BSIは5.7と、前期（13.3）から7.6ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲29.0と、前期（▲17.2）から11.8ポイント低下した。来期は▲18.7と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は20.4%と、前年度実績（15.2%）から増加した。 ・ 経営上の問題は「仕入価格の上昇」（69.2%）が最も多く、以下「生産・受注・売上げ不振」（41.1%）、「人材不足」（40.2%）と続いている。
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年10～12月期の業況判断BSIは▲25.6と、前期（▲22.4）から3.2ポイント低下し、続く27年1～3月期は▲33.5とさらに低下した。先行きについてみると、同4～6月期は▲28.1と上昇に転じ、同7～9月期は▲24.6と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲23.6と、前期（▲24.9）から1.3ポイント上昇した。来期は▲24.6と、低下に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは30.6と、前期（20.4）から10.2ポイント上昇した。今期の販売価格BSIは▲2.0と、前期（▲4.3）から2.3ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲15.8と、前期（▲13.7）から2.1ポイント低下した。来期は▲12.3と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は、18.8%と、前年度実績（16.9%）から増加した。 ・ 経営上の問題は「人材不足」（40.9%）が最も多く、以下「競争の激化」（30.5%）、「仕入価格の上昇」（29.6%）と続いている。